

環境・省エネ志向のお客様に 太陽光発電システム標準仕様様の戸建住宅を分譲

株式会社さくら不動産
設計課長 草間 達氏

株式会社さくら不動産様は、南大阪一帯で戸建住宅の開発を進めておられます。環境問題に先進的に取り組まれ、現在ではすべての住戸に太陽光発電システムを標準採用されています。エネルギー見える化で「ECOマネシステム」などを入れたことが、先進的な環境配慮の取り組みと評価され、平成21年度国土交通省「住宅建築物省CO₂推進モデル事業」にも認定。省エネ推進の家づくりをめざす(株)さくら不動産の設計課長 草間 達氏にお話をうかがいました。



オール電化の推進にあたり、 将来性を考えて太陽光発電を採用

——会社の設立と太陽光発電システムを標準採用されるに至った経緯をお話してください。
さくら不動産は1992(平成4)年に設

立。南大阪一帯を中心に年間150棟余りの新築分譲住宅を展開しています。
本格的に太陽光発電システムの導入に取り

組んだのは8年ほど前。オール電化の推進にあたり、今後は環境に配慮した太陽光発電が住宅には不可欠になると考えたからです。

屋根材と一体化のサンベストをご採用 ライフィニティECOマネシステムも

大阪府が開発した阪南スカイタウン内でさくら不動産が分譲開発を手掛けるラグーンヒルズは、大阪湾を望む自然環境豊かな高台にあります。お客様は30代のファミリー層が多

平成21年度住宅・建築物 省CO₂推進モデル事業に認定

——住宅・建築物省CO₂推進モデル事業の認定についてお話しください。
きっかけは、パナソニック電工の方から「住宅

建築物省CO₂推進モデル事業」と「長期優良住宅」の情報をいただいたことです。しかし応募に向けての準備がわからず、困っていました。そこでまずさくら不動産は、現在取り組ん

でいるCO₂削減、環境への配慮に特化した「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」への応募に注目しました。地元の電気工事会社様とパナソニック電工の方を交えて、募集要項を満たす要件についてお話をうかがったところ、改正省エネ法に基づき、住宅事業建築主の判断の基準を満たしていること、先進性のある技術の導入で、省CO₂効果を生み出すものであることだとわかりました。そこで電気設備機器によ

る省エネ、省CO₂を狙いに「ライフィニティECOマネシステム」「高効率照明」「高効率エアコン」を選出しました。
こうした電気工事会社様とパナソニック電工のノウハウのご提供により、無事、審査を通して、平成21年度国土交通省「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」の認定企業となることができました。対象となった住宅は2年間で20棟に上り、全棟で補助金が採用されました。

ネットワークシステムの導入で 環境に配慮した家づくり

実際に住宅をご購入されたお客様は「ライフィニティECOマネシステム」を使うと、太陽光発電システムの発電量をはじめ、家中の電気使用量や電気料金をチェックできるので、環境に対する見方が変わったとおっしゃいます。
今後は、環境をキーワードに消費エネ

く、環境問題や省エネに対して、強い関心を持つておられる方が増えています。
モデルハウスは、木造軸組工法2階建て。間取りは3LDKで、1階にはフリールーム2部屋と寝室、2階にはLDKとバスルームなどの水廻り設備を配置しています。
さくら不動産では、太陽光発電システムは屋根材の一部と考えているので、防水性、耐風性が高く、耐震性やメンテナンス性など基本性能がしっかりとっているパナソニック電工の住宅用太陽光発電システム「サンベスト」屋根材一体型を採用しました。
発電効率は、パネルの設置の方向や角度によって大きく変わります。狭小地なら、太陽電

池の容量2kWで、年間発電量は2,000kWh程度です。南向きを100%とすれば、東・西向きは80~85%、ある程度条件が揃えば、平均して60~70%の発電効率になります。
さらにエコキュートや高効率エアコンなどの設備機器の導入で省エネとCO₂削減に取り組んでいます。また住宅電気設備ネットワークシステム「ライフィニティECOマネシステム」も標準設備として設置し、太陽光の発電状況や使用電力をコントロールパネルや家庭のテレビで「見える化」することで、お客様が電気代を一目で確認でき、エネルギー削減の工夫ができるようにしております。

ルギーを減らす大きな課題です。ユビキタス社会になり、住宅内のすべての設備がたった二つのリモコンで操作が可能になる時代も近いはず。今後は、ネットワークシステムの導入は、快適で便利はもちろんCO₂削減につながる家づくりには欠かせないものになるでしょう。



さくら不動産の草間様(左)に「ライフィニティECOマネシステム」で家庭テレビに映されるエネルギーの使用状況を説明するパナソニック電工の営業(右奥)とセールスプロモーター(右手前)。



太陽光発電システムが、周辺環境と調和し、美観を形成している。

株式会社さくら不動産 阪南スカイタウン ラグーンヒルズ2号地



2階リビング。壁を照らす間接照明が空間に奥行きと広がりを感じさせる。



太陽光発電システム「サンベスト」はデザイン的にも屋根材にフィット。



- 建築概要
所在地：大阪府阪南市
設計：株式会社さくら不動産
施工：アトリエ・ティーズ株式会社
敷地面積：189.03㎡
建築面積：74.18㎡
1F床面積：56.18㎡
2F床面積：56.25㎡
延床面積：112.43㎡
構造：木造軸組工法
2階建て

- 納入設備
太陽光発電システム サンベスト
高効率照明
ライフィニティECOマネシステム
エコキュートなど



エコキュートは、住宅の設備機器として標準採用されている。